

東海地区協議会 2020年度
副会長（会務担当） ご挨拶

副会長（会務担当） 鍋田 昌吾

東海地区は、地理的には日本の中心に位置し、関東と関西の中間地点にあたる交通の便に優れた地域です。古くからものづくりに強く、様々な産業が発展して参りました。日本全体で進行している人口減少は、この東海地区においても例外なく進んでおり、一部の大都市以外の市町村の人口は、顕著な減少傾向にあります。この問題は、地域を支える産業の衰退や、伝統文化の継承が困難となってしまうという様々な危機をはらんでおります。一方で、情報通信技術の発達は、遠方とのコミュニケーションを円滑にしました。東海地区における各地会員会議所に所属する全会員が、物理的につながりやすい環境は整備されております。

このような時代背景の中で、青年会議所の会員は地域の諸問題を解決するために立ち上がり、発想力を磨き、行動力を高め、ネットワークを構築することで、各地域にソリューションを提供できる青年経済人へ進化していかなければなりません。東海地区協議会は、会員へ成長の機会を提供し、持続可能な社会を実現するための運動を推し進めて参ります。

東海フォーラムは、東海地区協議会の一年間の活動の集大成と位置付けられております。私たちは、本年度の東海フォーラムにおいて、地域を巻き込み、会員の学びと一年間の活動を表現する最高のステージを創り出して参ります。特に、SDGsという地域と青年会議所が共有すべき目標を広く伝え、青年会議所と地域との協和を生み出して参ります。

単年度制の青年会議所が、その一年間で地域に与えるインパクトは大きくないかもしれませんが、しかし、地域に貢献したいという私たちの想いが毎年連続することにより大きなうねりが生まれ、持続可能な社会を創り出す大きなインパクトに変化していくのです。希望溢れる東海は私たちの力で創り出せます。青年のもつ可能性を信じて、今日もJC、頑張りましょう。